

# 大野城市 議会だより



※おおり保育園の園児たち

市民とともに歩む議会だより

**次号148号**  
令和2年2月15日発行

あなたの写真で  
議会だよりの表紙を  
飾ってみませんか？  
(締切り 12月17日)

## 令和元年 第6回12月定例会 (予定)

- 12月 2日(月)10:00 ~ 本会議 提案理由説明
- 5日(木)10:00 ~ 本会議 質疑・付託
- 6日(金)10:00 ~ 各常任委員会 10日迄
- 12日(木) 9:30 ~ 本会議 一般質問
- 13日(金) 9:30 ~ 本会議 一般質問
- 17日(火)10:00 ~ 本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。  
みなさまの傍聴をお待ちしています。

## 主な記事

- ・委員会報告…………… P2 ~ 4
- ・特集「中学生模擬議会」…… P4 ~ 5
- ・9月定例会一般質問…………… P6 ~ 13
- ・審議結果…………… P14 ~ 15

# 委員会報告

～主な審査内容～

## 総務企画委員会

### 第60号議案

「大野城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について」

**問** 現行の臨時職員や嘱託職員から会計年度任用職員へ移行することについて

**答** 現行の臨時職員と嘱託職員が基本的に会計年度任用職員に移行することになる。来年4月の任用開始に向け、準備を進めている。

**問** 期末手当に対する影響は

**答** これまで嘱託職員、臨時職員には支給がなかった。今回の会計年度任用職員では、6か月以上の任期がある等の条件はあるが、一定の要件を満たす場合に支給対象になる。

**問** 移行に伴う財政的負担や財源について

**答** 今年度の任用職員ベースで比較すると概算で約2億円程度の様々な人件費等の増加が見込まれる。財源は、多くは単費で一部地方交付税の充当が見込まれている。

**問** 制度改正による任用方法の変更について

**答** 来年4月から任用する職員は、今年度採用試験を実施する予定である。令和2年4月任用開始の職員は、人数が多いため今年度中に一括して試験の実施を考えている。一部専門的な職種は、個別に実施をする予定である。

### 第62号議案

「職員の分限並びに懲戒の手続き及び効果等に関する条例及び大野城市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

**問** 成年被後見人である職員が職務として行った行為の取り消しの有無について

**答** 成年被後見人等の方が公務員として行った行為等は、行政が行った行為が直ちに無効になるということではない。

## 福祉文教委員会

### 第63号議案

「大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

**問** 連携施設として「認可外保育所」も対象となるが、「小規模保育所」は市で認可され、設置されているが、連携施設の確保のため、今後、どのように考えているか

**答** 今後は、「認可外や企業主導型保育事業所」も対象となるため、可能な限り確保のほうに努めたいと考えている。

### 第64号議案

「大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

**問** 本年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、施設での食費（副食費）が保護者から徴収される事になると言うが、実費徴収額はどのくらいになり、保護者への報告はいつ行うのか

**答** 実費徴収額は月額5,000円程度の予定で、保護者への説明は今後行う予定である。

### 第65号議案

「大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

**問** 今まで印鑑登録を受けることが出来なかった成年被後見人の方が改正後、心身の故障の状況によっては、印鑑の登録を受けることが出来るようになるのだが、心身の故障状況の判断はどのようにするのか

**答** 現在、規則を定めているところであり、決裁が終わっていないので、その点については、差し控える。

## 都市環境委員会

### 第66号議案

「大野城市消防団員の定数、任用、給与、分限、懲戒及び服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

**問** 消防団の団員不足が大きな問題になっている中で、欠格条項である懲戒免職等を受けているか否かについては、どう判断するのか

**答** 現状は、主に各消防団に入団の勧誘等をお願いしている。入団を希望する場合、日本国憲法や条例・規則・命令等を遵守することを誓約する宣誓書を提出していただき、そこで判断している。

**問** 第6条の規定により、懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者である。例えば、懲戒等の事実がわからなくて2年を経過した者に、退職勧告等はないのか

**答** 実態的に今その事例がないので、その時は協議したいと考える。



## 予算委員会（補正予算）

### 第67号議案

「令和元年度大野城市一般会計補正予算（第4号）について」

歳入歳出予算にそれぞれ9億2,309万8,000円を追加、補正後の歳入歳出予算総額を371億1,908万8,000円とするもの

**問** （仮称）青少年の居場所の開所予定時期及び利用対象者はどのようになっているか

**答** 開所予定は令和3年2月としている。利用対象者は中学生以上の若者で、概ね30歳未満までと考えているが、中高生の利用が多くなると見込んでいる。

**問** 路側帯のカラー舗装について、場所は具体的に決定しているか

**答** 計画していた場所に加えバリアフリー重点整備地区である下大利、白木原地区を予定している。

**問** 市指定のごみ袋に関して、消費税率が変わる10月から値上げはあるか

**答** ごみ袋に関しては現状のまま、販売に関しては値上げの予定は今のところない。

**問** 小学校の給食費専門委員会で10月以降は月額250円程度の給食費の値上げが必要とあるが、値上げはあるか

**答** 令和元年10月より消費税率が引き上げられ給食費の値上げを実施すると保護者家計の負担が重複されることから負担軽減のため令和2年3月までの6ヶ月間値上げ相当額を補助する。また、令和2年4月以降の児童の給食費は月額4,600円に値上げを予定している。

**問** 留守家庭児童保育所（学童）とランドセルクラブの全校一体化について、10校全部一体化する予定はあるか、またランドセルクラブの利用料金について

**答** 令和2年度に大野北小と大野東小を実施、翌年令和3年に月の浦小を実施して3校の試行を踏まえて令和4年度に全校一体運営を予定している。料金は将来的に全校一体化の時点で見直しを考えている。

# 決算特別委員会

## 第1号議案

**問** ふるさと納税推進事業費の納税推進業務委託料が増加している要因は

**答** 当初の見込より多くのふるさと納税の寄附をいただいたことから、返礼品発送などに係る委託料が増加している。

**問** 認定こども園の今後の市の方針は

**答** 現在、認定こども園への移行を希望している幼稚園がないため、今後は認可保育所等の施設を整備していく。計画として、大野北保育所の建てかえなどのほか、分園等の整備を進めるようにしている。その結果、来年度の待機児童数は100人を切るという目標を達成したい。

**問** 生活保護扶助費の医療扶助で後発医薬品使用による医療費削減の効果は

**答** 平成28年度の平均使用率が70.5%、平成29年度の平均使用率が75.4%、平成30年度の平均使用率が83.7%となっている。今年度の6月の診療分では89.5%になっている。仮に、全て後発医薬品を利用すると約60万円程度の削減になると推定される。

**問** 防災人材育成事業で防災士養成の人数と今後の予定は

**答** 昨年度は2日間の防災士養成講座を実施し、自主防災組織の役員、消防団員、それから市職員を合わせ78人が防災士の資格を取得している。本年度も講座を実施し、多くの防災士の養成を目指している。

**問** 学校プール施設改修事業の内容と今後の計画は

**答** 公共施設等マネジメント計画、事業推進計画に基づいて優先順位を決めて実施している。ただし、プールの損耗状況などにより、毎年チェックをし、前倒しで早急に事業が必要な部分は改修を行っている。例えば、今年度はチェックにより大利中のプールに早急な改修が必要と考え前倒しで実施している。

## ～ 模擬議会の目的～

- ・中学生が議会制民主主義を体験する貴重な機会であるとともに、模擬議会のDVDを社会科公民の授業の学習教材に活用する。
- ・中学生が市行政のことや、市議会の仕事や役割を学ぶこと。
- ・中学生が市や地域のことに関心を持ち、人とのつながりを大事にする心を育てる機会となる。
- ・市、市議会は、中学生の目線で問題点や意見、提案を聞き、今後のまちづくりの参考にする。



中学生議員たち

市議会は、今後もさらに市民に開かれた議会を目指し、市民にとって住みやすいまちづくりに全員で取り組んでいきます。

# 中学生模擬議会を開催しました！

## ●学校代表質問

氏名 【学校名】	件名
1. 目黒 <small>めくろ</small> このは 【大野東中】	大野城跡について
2. 金光 <small>かねみつ</small> 柊介 <small>しゅうすけ</small> 【大利中】	福祉サービスの増加と生活支援事業について
3. 浜辺 <small>はまべ</small> 祥希 <small>よしき</small> 【御陵中】	水不足について
4. 嵯島 <small>おさしま</small> 直輝 <small>なおき</small> 【大野中】	市議会議員の職務と活動について
5. 安倍 <small>あべ</small> 静香 <small>しずか</small> 【平野中】	平成30年度議会報告会で市民から出された意見への対応について

### 大野東中学校

氏名	件名
6. 末吉 <small>すえよし</small> 温 <small>はる</small>	まどかパークの利用について
7. 永田 <small>ながた</small> 真心 <small>こころ</small>	なかよし号について
8. 松尾 <small>まつお</small> 優斗 <small>ひると</small>	いじめ問題について
9. 古賀 <small>こが</small> 悠花 <small>はるか</small>	小中学生の文化とのふれ合いについて

### 御陵中学校

氏名	件名
14. 荒木 <small>あらか</small> 隼 <small>はやて</small>	公園での球技練習制限について
15. 池下 <small>いけした</small> 凜音 <small>りお</small>	地域とのかかわりについて
16. 山口 <small>やまぐち</small> さくら	中学校のランチ給食の食券について

### 平野中学校

氏名	件名
20. 島川 <small>しまかわ</small> 大輝 <small>だいき</small>	災害発生時の高齢者の避難について
21. 石川 <small>いしかわ</small> 喜一 <small>きいち</small>	市民公益活動について
22. 原口 <small>はらぐち</small> 陽太 <small>ひなた</small>	高齢者ドライバーについて
23. 小倉 <small>おくら</small> 大和 <small>やまと</small>	大野城市環境基本計画について

8月21日、市役所4階の議場にて、本市5中学校の代表24人が、一日議長・議員となり、議員が行政職員の立場で回答し、市長も見解を求められ答弁しました。



議員が執行部役

### 大利中学校

氏名	件名
10. 古賀 <small>こが</small> 太一 <small>たいち</small>	JR大野城駅前の駐輪場について
11. 高島 <small>たかしま</small> 優気 <small>ゆうき</small>	JRの高架化について
12. 前田 <small>まえだ</small> 顕明 <small>けんめい</small>	交通の利便性について
13. 伊藤 <small>いとう</small> 恵来 <small>えこ</small>	通学路の安全確保について

### 大野中学校

氏名	件名
岡田 <small>おかた</small> 涼花 <small>すずか</small>	(選挙により議長就任)
17. 安達 <small>あだち</small> 瑠琉 <small>るる</small>	学校の面積と生徒の人数について
18. 酒見 <small>さけみ</small> 遥斗 <small>はると</small>	入院等長期欠席中の学習支援について
19. 藤 <small>とう</small> 航一 <small>こういち</small>	西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に伴う高架下活用について



# 一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

氏名	件名
森 和也	★不安全箇所について
神田 徳良	★小中学校教育に関すること
田中 健一	★豪雨災害や地震に強いまちづくりについて ・国の幼児教育・保育の無償化について ・市有施設の施設整備事業へのPPP/PFIの導入について
平田 不二香	★日本語での意思疎通が難しい児童・生徒への支援の取り組みについて ・すこやか交流プラザの施設利用について
渡邊 知之	・まどかパークについて ★障がい者サービスについて
原田 真光	・住宅街における自動車の駐車スペースの不足について ★運転免許証の自主返納支援ならびに自動車の後付け安全装置設置支援について
中村 真一	・高齢者運転免許証自主返納への環境整備について ★高齢者の自動車運転による交通事故発生抑止への取り組みについて
河村 康之	★災害発生時における備えについて
平井 信太郎	・病児デイケアルーム大野城について ★ごみ出しに関わる事故について
松崎 百合子	・節水および災害対策と、雨水タンク、中水道水および井戸の活用について ★戦後75年、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように」平和への取り組みについて ・生活困窮者自立支援事業および生活保護事業の充実と、福祉専門職の配置について
大塚 みどり	★働き方改革について
松田 美由紀	★働く人の視点に立った働き方の実現について ・職場のパワーハラスメント防止対策について
関岡 俊実	・コミュニティバスと高齢者移動支援事業等の充実並びに総合的な交通体系の確立について ★西鉄下大利駅の周辺整備とJR水城駅構内のバリアフリー化について
井福 大昌	★市民が心待ちにしている高架下活用

## ◆ 視察来庁 ◆

- ★こども情報センターについて  
9月25日 茨城県守谷市
- ★議会運営について  
10月2日 神奈川県大和市
- ★ワンストップ総合窓口について  
10月3日 東京都稲城市  
15日 大阪府堺市
- ★まちななかわくわくパビリオンについて  
10月9日 千葉県浦安市
- ★大野城トレイルについて  
10月17日 愛知県安城市
- ★防災対策について  
10月18日 三重県津市
- ★子ども食堂について  
10月25日 福井県敦賀市
- ★公共サービス「DOCK事業」について  
10月29日 広島県三次市  
11月7日 静岡県富士市
- ★健康寿命を延ばす取り組みについて  
11月6日 北海道北広島市
- ★大野城心のふるさと館について  
11月8日 東京都荒川区

## 大野市内の不安箇所は？

森 和也



**問** 車イスの通行を妨げる街路樹については伐採する必要があると考えるが、いかがか

**答** 街路樹が大きくなり過ぎ、車椅子などが通りにくい場合については、根上がり部分や植栽ますなどの補修や改良により対応している。補修で対応できない場合は伐採や移植などが必要となるので、地元住民等の意見を聞きながら、円滑で安全な歩行空間の整備を行っていききたい。

**問** 下大利一丁目の水路に関して、注意看板を掲示すべきではないかと考えるが、いかがか

**答** 注意看板を提示することは、注意喚起に有効な手段であると考えており、現地を確認して、その場所に適した注意看板の設置を検討したい。

**問** 内河石坂林道に関して、草が伸びたところが諸所にあったが、草の管理などはどのように行っているか。また、一部道路幅が狭いところがあるので、整備してもら

**答** いたいと思っているが、いかがか  
現地の定期パトロールにより、裏面の草の生育状況を監視し、年に2回程度道路両側約1メートルの範囲の草刈りを行っている。また、幅員4メートルの確保、500メートルごとの待避所の設置など、林道の整備において満たすべき基準を満足している。今のところ拡幅整備を行う予定はないが、林道を利用される方々が安全に通行できる環境を確保するため、有効幅員の維持に努めていきたい。



▲映像はこちら

## 適応指導教室の充実を目指して

神田 徳良



**問** 本市において適応指導教室はどこに何か所あるのか、また何人の子どもが通い指導員は何人か

**答** 本市では一か所、北コミュニティセンターに適応指導教室を設置し、11人の児童生徒が通い、3人の指導員が担当している。

**問** 適応指導教室の目的と指導内容は

**答** 心理的または情緒的な理由により学校に登校出来ない状態にある児童生徒に、集団生活に適応する力を育みながら、社会的自立を促したり、学習の定着を図ることを目的としている。

**問** 進路指導や学力保障は

**答** 学校や適応指導教室の中で、学校の教員が生徒と保護者に面談を行い進路指導している。学力保障は、指導員の指導と中学校の教員が定期的に出向いて授業を行っている。

**問** 北コミュニティセンターに通所できない子どもたちの対応はどうなっているか

**答** 学校へ登校できず、適応指導教室への通級もできない児童生徒への対応は、学級担任を中心とした学校職員の家庭訪問が基本となる。また、教育サポートセンターから派遣しているスクールソーシャルワーカーも学校と連携して家庭訪問を行っている。保護者からの相談にもスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを中心に体制を整えている。



▲映像はこちら

# 豪雨災害や地震に強い

## まちづくりのついで

田中 健一



**問** 昨年7月西日本豪雨災害による被災箇所への復旧状況及び今後の計画について

**答** 主な被災箇所のうち、平野台の法面、牛頸とつじヶ丘の間の法面、善一田古墳公園付近の法面、中配水池進入路下の法面は、市で復旧工事が完了している。

平野台C渓流の法面と大野城いこいの森キャンプ場上の渓流は、県の治山事業として、今年の秋頃に完成予定である。

平野台C渓流の土砂災害特別警戒区域は、治山ダムの完成で年内に解除の見通しである。急傾斜地の土砂災害特別警戒区域は、指定された区域ごとに対策工事を行い、解除手続きを行う予定である。

**問** 県管理河川の御笠川の河川整備について

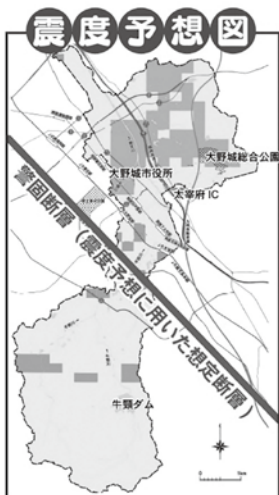
**答** 県に確認したところ、河道内の立木は、本年度筒井橋付近の立木を伐採する。また、河川整備については、現在、筑紫野市で河川整備が実施中で、目途がつか

第、大野城市及び太宰府市域の御笠川本川の改修に着手する予定である。

**問** 東地区の「地区防災計画づくり」が進められているが、市はどう支援していくのか

**答** 市では、初期の段階から、策定スケジュールや作業内容の検討、また関係機関との調整など「ミニユニティ運営協議会」への助言や支援を行い、今後も継続して支援していく。

「大野城市民総ぐるみ防災訓練」実施予定  
日時 11月30日土曜日 14時  
場所 大野城市内全域  
内容 地震を想定して、防災訓練用のサイレンがなります。



▲映像はこちら

# 日本語支援が必要な

## 児童生徒への取り組みは

平田 不二香



**問** 本市の現状はどうか

**答** 9月現在の人数は、小学校で9人、中学校で3人。小中学校からの報告に基づき、県に対し日本語指導担当教員の配置要望を行い、今年度は大利小学校に日本語指導担当教員1人が配置されている

**問** 小中学校日本語支援ボランティア派遣事業について

**答** 現在、10人のボランティアが登録。言語は、英語、中国語、韓国語、ヒンズー語、フィリピン語、ベトナム語の6カ国語で支援が可能である。派遣されたボランティアは、通常授業や個別の学習指導、生活指導の場に入って、児童生徒同士や教員との間で、お互いの考えていることや伝えたいことが円滑にコミュニケーションできるように支援活動を行っている。また、保護者も面談での会話の補助や連絡文書の翻訳など、支援を行っている。昨年度から開始し、現在小学校3人、中学2人の児童・生徒に支援を行

い、ボランティアの派遣回数は延べ84回である。

**問** まだ支援の手が届いていない児童生徒はいないか

**答** 対象となる言語を話せるボランティアを見つけないことができず、支援の手が届いていない場合がある。ボランティアを見つけたら、努力を引き続き行っていきたい。



▲映像はこちら



## 人工内耳について

渡 邊 知 之



**問** 本市における身体障がい者サービスについて、どのような支援があるか

**答** 大きく三つあり、一つは全国一律の障がい者サービス、補装具支給事業、二つ目は、市町村が実施する地域生活支援事業、三つ目は、それらを補完する市の独自事業で、軽度・中度難聴児補聴器購入費助成事業などがある。

**問** 補装具と日常生活用具の違いは何か

**答** 補装具は、身体障がいの部位に身体の機能を補完し、容易に日常生活を送るための道具である。日常生活用具は、障がい者の方が日常生活を送るに当たって生活の便宜を図るために使用する道具である。

**問** 補装具、日常生活用具で福岡県内の他の自治体で認められ、本市では認められていないものは

**答** 補装具は全国一律の制度のため他の自治体との違いはない。日常生活用具は自治体によって品

目に違いがあり、主なものとして人工内耳や人工鼻などがあり、県内29市のうち、人工内耳については8市、人工鼻についても8市が対象品目に加えているが、本市給付の対象としていない。



▲映像はこちら

## 自動車の安心・安全の

## 取り組みについて

原 田 真 光



故が減少するよう総合的に市の施策を検討する。

**問** 他の自治体は、「運転免許証を自主返納された高齢者の方を対象とした支援事業」を行っている。本市でも運転免許証の自主返納者への支援を行っているのか

**答** 現時点では、安全装置に対する設置補助を行う計画はない。しかし、踏み間違え防止装置の設置補助や自動ブレーキ装置や車線逸脱防止装置付きの車両（セーフティサポートカー）に対する購入補助など、東京都を含む先進地の取り組みを調査・研究し、本市の効果的な施策を検討する。

**問** 高齢者のための自動車の後づけ安全装置以外の自動車運転事故を減らす取り組みを検討しているのか

**答** 国では、運転免許更新時に認知機能検査の強化や高齢者の運転を地域や時間帯、自動ブレーキつき車両などに運転を限定する限定免許制度の検討が進められている。そのような国の動向を注視しながら、高齢運転者の事



▲映像はこちら



**問** 高齢者の方へ安全に長く車に乗ってもらうため、踏み間違い防止装置や安全運転支援機能を有するドライブレコーダー装置の設置に対しての補助金を支給することはできないのか

**答** 踏み間違い防止装置に対する設置補助を実施している自治体があることは承知している。本市でも先進市の施策を調査・研究し、効果的な施策を検討したいと考えている。

**問** 自動ブレーキシステム付きの新車を購入する際、補助金を支給する制度の検討はしているか

**答** 現在、香川県など自動ブレーキシステム付き自動車購入補助を実施している自治体がある。こちらでも、国、県の動向を見つつ先程の踏み間違い防止装置などとあわせて、先進地の施策を調査・研究したいと考えている。

**問** 高齢者ドライバーへの講習を実施しているか

**答** 交通安全指導員と連携しシニア

クラブなどで交通安全出前講座の中で実施している。また、筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会や交通安全協議会などが自動車学校の協力を得て、高齢者ドライバー向けの実技講習を実施し、各コミュニティやシニアクラブから参加している。

### 補償運転、ご存知ですか？

補償運転とは、加齢に伴う運転技能の低下を補うために、ご自身の体調や天候、道路状況などを考えて、安全に運転することです。



▲映像はこちら



**問** 避難行動要支援者の支援制度の対象者とその目的は

**答** 65歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみで住んでいる要介護認定を受けている方、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳Aを持つている方、難病患者、妊産婦、乳幼児、外国人などの災害時に配慮が必要な方で支援を希望される方、その他、支援等関係者が必要と認めた方である。この制度は、これまで取り組んできた円滑な支援を通して災害時の被害を最小限に抑えることを目的としている。

**問** 障がいの内容により、介助や必要な支援が異なるため、障がい者の特性に応じた災害時の障がい児(者)用の防災の手引きの作成が本市として必要であると思うが市の考えは

**答** 災害時に配慮が必要な方には、それぞれの特性に応じた災害への対応や備えが必要である。今後、ニーズと活用方法なども含め、先進事例について調査・研究を進め

たいと考えている。

**問** 災害発生時の「自助」を推進するためのサポートとして、在宅医療機器等の予備のバッテリーや自家発電機の購入費の助成等の支援をどう考えるか？

**答** 在宅医療機器を使用されている方は、外出時や落雷による停電時も電源の確保が必要である。予備のバッテリー、自家発電機の購入の助成は、行っている大野城市障がい者等日常生活用具給付事業の内容の見直しの中で検討していく。



▲映像はこちら

## 正しいごみの分別は、無駄な税金を削減します

平井 信太郎



**問** ごみ収集車（パッカー車）の火災事故で本市及び近隣市で事例はあるか

**答** 平成28年6月に1件の火災事故があり、発火原因は中身の入ったガス缶が混入しており、機械によるごみの圧縮過程で発火したと思われる。

**問** パッカー車が1台焼損した場合、どれくらいの費用がかかるか

**答** 小規模な発火事故の場合は約10万円以内、全損した場合は1000万円ほどの費用がかかる。

**問** クリーンエネパーク南部の小規模火災事故について

**答** 小規模火災事故は平成29年1件、30年に2件、合計3件確認している。

**問** 平成29年6月の設備火災事故にCSN

**答** 焼損した破碎設備の修理や自動消火設備の改善費用などで、約4億8400万円必要であった。また復旧に要した期間は約11ヶ月でした。



クリーンエネパーク南部施設工場平成29年に火災事故が発生し4億8400万円の損害が出ました



▲映像はこちら

**問** 火災事故を未然に防止するため、市民への事故状況の周知が必要ではないか

**答** ごみの分別や正しい出し方は、定期的に広報紙やホームページ、SNSなどで、市民の方々に対し啓発を行っている。今後は、事故につながる危険な搬入禁止物などの具体的な事例を掲載し、さらなる周知・啓発を行っていく。

**問** クリーンエネパーク南部施設の見学を推進してはどうか

**答** 見学者を増やすことは、ごみ分別の啓発にもつながる。今後も一般見学者の来場を促し、環境学習の場として小学校単位での見学も推進していく。

## 戦後75年に記録と企画展など 平和の取組みを

松崎 百合子



**問** 本市の平和に対する見解は

**答** 平和の実現に対する決意を常に新たにしていく必要がある。戦後74年の歳月が過ぎ、当時の体験を伝えることが難しくなっている。戦時の記憶をこれから大野城市を担う若い世代に伝え、平和の尊さを学ぶ機会をつくることも重要である。市議会で決議された「非核・平和都市宣言」

につたわれている「核兵器のない平和な世界の実現」に向けて着実に地道な努力を続けていきたい。

**問** 本市編集の「終戦50周年記念戦争体験記」を生かした啓発は

**答** 原爆資料展を毎年実施している。

**問** 日記や手紙など戦中戦後の体験や暮らしを語る記録や遺品等を借受け、保管やリスト化は

**答** ふるさと文化財課では、市民から民俗資料の寄贈を受け、保管、リスト化を行っている。戦争に関するものは、手紙、はがきなど約

50点を登録。今後も、同資料を言めた民族資料の収集、保管を進めていきたい。

**問** 戦中戦後を生き抜いた市民の体験を映像や音声で記録は

**答** 現時点で本市が有する貴重な資料を活かしていきたい。

**問** 収集した戦争の遺品や記録を中心に、戦後75年夏、ふるさと館企画展を開催することは

**答** 庁内関係各部署とも協議の上、戦争の生の声が記録された体験記などの資料を活用し、戦争の記憶を広く市民へと伝えていく事業の実施について今後検討を行っていききたい。



▲映像はこちら

## 子どもたちの教育に 集中できる働き方改革を

大塚 みどり



**問** 学校における働き方改革について、取り組み現況は

**答** ICカードをカードリーダーにかざし、出勤を管理している。留守番電話の導入は、工程表(学校における働き方改革のパッケージ)にも記載しているので検討する必要があると考えている。

**問** 夏季休業中の業務改善は

**答** 8月13日から15日までの3日間を学校閉庁日としている。緊急連絡先を教育委員会として実施、日直を置かず効果的だったと考えている。

交換を行っている。教職員の業務縮減や会計処理の透明化につながる公会計の仕組みづくりを積極的に検討していきたい。

大野城市を含む筑紫地区が誇るべきことは、研究熱心であるということ。子どものために強い使命感、責任感から、あらゆる業務をしなければならぬという環境の中で育ってきた結果、業務の範囲を拡大し続ける状況をつくっていったこともある。教育に集中できる環境整備に取り組んでいきたい。



学校における働き方改革!



▲映像はこちら

## 働く人の視点に立った働き方の 実現について

松田 美由紀



**問** 届出保育施設の運営支援について

**答** 市内の届出保育施設が0歳から2歳までの認可保育所の待機児童を受け入れた場合、児童の年齢に応じて運営費を補助するものである。平成30年度は対象となる市内届出保育施設、全10園が申請をしている。

**問** 待機児童支援として行っている保育料の一部助成の状況はどうなっているか。また、10月から保育料が無償化された場合は、制度がどうなるのか

**答** 令和元年度の第1四半期において、保育料の一部助成対象者は28人、金額では5万5600円の補助を行っている。10月以降も0歳から2歳までの子どもがいる住民税の課税世帯は、入所して

いる届出保育施設の保育料と認可保育所に入所できた場合の保育料の差額の半額の補助金を交付する。住民税の非課税世帯は、今年度中は月額施設利用料と4万2000円を上限とする額との差額の半額の補助金を交付する。3歳から5歳までの子どもがいる世帯は、月額の施設利用料と3万7000円を上限とする額との差額の半額の補助金を今年度中は行う予定としている。



▲映像はこちら

## 西鉄下大利駅周辺の整備について

関岡 俊実



問 西口広場の整備について

答 広場周辺の歩道上の屋根や照明は、にぎわいづくりに有効であると判断しているため設置する計画である。既存の上下水道や電気設備がイベントの幅を広げるための重要な役割を果たしているため、新たに整備する広場でも設置する計画である。

問 東口のバス停の設置と東側道路の整備について

答 バス停は、仮駅舎撤去後の道路整備に合わせて、令和4年度の完成を目指している。バス停留所に屋根を設置し、バス3台の停車が可能となるように整備する。白木原から下大利駅間の歩道上に歩行者用の屋根をかける計画をしている。

問 西口商店街の道路整備による安全の確保について

答 西口商店街の道路は、交通量が多く、歩道もないことから、大型車の進入禁止や一方通行など、何らかの対策が必要だと考えて

いる。具体的な交通規制や道路整備は、今後開催するワークショップなどでの意見を反映しながら方針を定めていきたいと考える。

問 JR水城駅構内のバリアフリー化の見直しについて

答 駅舎のバリアフリー化を令和2年度までに行うことを努力目標としている。市も早期実現に向けてJR九州との協議を密に行っていくたいと考える。



西鉄「下大利」駅完成イメージ

デザイン:「古(いいにしえ)」と緑に繋がる やすらぎのエントランス  
イメージカラー:若芽色 イメージマテリアル:「土」



▲映像はこちら

## 市民が心待ちにしている 高架下の有効活用

井福 大昌



問 高架下の利用について市民代表も参加できる「まちづくり会議」

答 にも、同じ沿線沿区である雑餉隈町、栄町の両区の関係者も参加したいとの声があるが市の見解は

来年度の新しい会議を検討する中で組織メンバーとして雑餉隈町、栄町の関係者も検討していく。

問 2年前の私の一般質問に対し、高架下テナント誘致のための調査をコンサルに依頼したと回答があったが、テナント整備の予定や現在のコンサル調査の進捗は

答 西鉄とテナントの合意後の公表であるので、事前の把握は難しいが、市が整備する施設については今年度中に計画を策定し、市民に知らせる報告会等を行う。協議会が行った調査では「歩きやすい歩道」、「居心地の良いオープンスペース」、「おしゃれなカフェやマルシェ」などを期待する声が多い。次の「高架下周辺まちづくりニュース」にも調査結果

を記載して配布する。

問 高架下テナントに参入する店舗

答 会社には、「商店会」や「商工会」に加入してもらい、「地域と一緒に」になって「街づくりに協力してもらうべきと考えるが、市の見解と施策は

参入者に協力してもらうことは必要だと考える。協力体制をとってもらうことをテナント入居時の条件にできるか、あるいはまちづくり理念を、テナント、西鉄、地元で協定できないか西鉄と検討を深めたい。



西鉄「白木原」駅完成デザインイメージ



▲映像はこちら

## 賛否の分かれた議案(令和元年第5回9月定例会)

会派名	自民令和					自民まどか			自民大野城			公明党			改革フォーラム			市民クラブ		
議員氏名	関井利夫	山上高昭	森和也	原田真光	平田不二香	田中健一	中村真一	渡邊知之	岡部和子	平井信太郎	井福大昌	大塚みどり	井上正則	河村康之	神田徳良	関岡俊実	松田美由紀	松崎百合子	福澤信光	松崎正和
決議案第3号	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

(○：賛成、●：反対、-：議長は表決に加わらないため)

## － 陳情関係 － (全議員に写しを配布)

陳情第7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情
陳情第8号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書
陳情第9号	公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の定時総会決議について
陳情第10号	天皇陛下御即位奉祝賀詞決議に関する陳情書

◆ 議会の動き ◆

8月2日 福祉文教委員会(宗像市)

22日 交通ネットワークとまちづくりを  
考える調査特別委員会

26日 議会運営委員会  
市民に開かれた議会をつくる  
調査特別委員会

9月2日 本会議(初日)  
全員協議会  
市民に開かれた議会をつくる調査  
特別委員会(市民交流検討会)

5日 本会議(2日目)  
市民に開かれた議会をつくる  
調査特別委員会(模擬議会とBCP)

6日 広報委員会  
決算特別委員会  
総務企画委員会

9日 福祉文教委員会  
都市環境委員会  
予算委員会

10日 決算特別委員会(13日)  
市民に開かれた議会をつくる  
調査特別委員会(市民交流検討会)

11日 会派代表者会

18日 本会議(3日目、一般質問)

19日 本会議(4日目、一般質問)

24日 本会議(最終日)  
議会運営委員会  
会派代表者会  
市民に開かれた議会をつくる  
調査特別委員会

10月1日 福岡県南市議会議長会(筑紫野市)

7日 中部十一市議会議長会議員研修会  
(大野城市)

11日 筑紫地区市議会議長会(太宰府市)

16日 福岡県市議会議長会(直方市)

23日 中部十一市議会議長会正副議長  
事務局長研修(鹿児島市)24日


11月2日 議場見学会(議場)

6日 議会報告会(中央)11日

7日 議会報告会(南)11日

8日 議会報告会(東)11日

11日 議会報告会(北)11日



# 定例会 9月

令和元年9月定例会を  
9月2日(月)から9月24日(火)まで開催  
26の案件を審議し、全て可決・承認・同意・認定。報告が7件。  
14名の議員が一般質問。

## 審議結果一覧

令和元年第5回9月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第60号議案	大野城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	全会一致可決	総務企画委員会
第61号議案	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	〃	〃
第62号議案	職員の分限並びに懲戒の手続及び効果等に関する条例及び大野城市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第63号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	福祉文教委員会
第64号議案	大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第65号議案	大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第66号議案	大野城市消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒及び服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	都市環境委員会
第67号議案	令和元年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について	〃	予算委員会
第68号議案	令和元年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第69号議案	令和元年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第70号議案	令和元年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第71号議案	令和元年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第72号議案	令和元年度大野城市下水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
認定第1号	平成30年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	決算特別委員会
認定第2号	平成30年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第3号	平成30年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第4号	平成30年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第5号	平成30年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第6号	平成30年度大野城市土地区画整理清算金特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第7号	平成30年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致可決及び認定	〃
認定第8号	平成30年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	〃
報告第7号	平成30年度大野城市健全化判断比率について	報告	—
報告第8号	平成30年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第9号	平成30年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第10号	平成30年度大野城市土地開発公社の決算について	〃	—
報告第11号	平成30年度公益財団法人大野城まどかびあの決算について	〃	—
報告第12号	平成30年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	〃	—
報告第13号	平成30年度公益財団法人大野城市体育協会の決算について	〃	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致同意	—
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—
決議案第3号	天皇陛下御即位奉祝の賀詞決議	賛成多数可決 (賛成18・反対1)	—
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	全会一致可決	—
—	議員の派遣について	承認	—

# 作品紹介

## 短歌

- 赤米の美しき稲田に夕日差し  
筑後川がゆるやかにゆく
- 兄弟り稲穂の中を帰途につく  
はるかに比叡の山のぞみつづ

(若草・高名稔さん)

- 「今日は」明るく元気な挨拶は  
平中生の野球少年ら

- 故郷の野菜求めて牛くびへ  
同県人の出逢いに嬉し

- 夏祭り久方振りの逢瀬にて  
婆(バーバ)になりてママにもなりて

(緑ヶ丘・平井静代さん)

## 俳句

- 昇き山笠や 肌貼りつく 濡れ法被
- 鳴き移り 夕暮れ時の 法師蟬
- 幼児へ 秋澄み夜半の 子守唄

(大城・すつぴんの昭さん)

- 木の下に蟬の脱殻そつと置き

- 盆帰り笑いの種蒔く孫子たち

- 網戸から熱風入る老いの部屋

(緑ヶ丘・平井静代さん)

## 川柳

- 物忘れ 転がってゆく 傘寿坂

- 我慢したよと妻は言う 俺だつて

- 悪戯鬼も 歳を重ねて 杖となる

(大城・すつぴんの昭さん)

- 心込め みがけば忘れて くれる靴

- 痛いので 来たが診断 また加齢

- ゴキと俺 同時にビビる ご対面

- 待ってたよ！ 旦那！と金魚 寄ってくる

- 異動ごと 上司に合わせ 増える趣味

(南ヶ丘・そうそうたん)

- 共同参画 この街灯り 大野城

- 町づくり 夜なべ談義にかけた夢

- 継がれゆくものなら老いも旅支度

(乙金台・泉満夫さん)

- 外れ券それでも楽し夏の夜

- 友好の場となる一区の公民館

- 夏祭り関わるお人に感謝して

(緑ヶ丘・平井静代さん)



## ～作品掲載希望者募集～

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品(未発表のものに限ります) ・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真

- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ  
(〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938)

- 注意事項

- ・未発表のものに限ります
- ・人物の写真については、掲載の了解を得てください
- ・提出された作品は、返却しません
- ・ペンネームでも可とします



## あんてな

議会だよりNo.147は、令和元年11月15日発行。七五三のお祝いの日です。今月は、可愛いお子様の成長を神社などで祝うご家庭も多いでしょう。

また、11月は霜月と呼ばれ、文字通り寒暖差を感じる時期です。今月下旬には、カエデ、モミジ、イチヨウが一気に色づき、四王寺山の紅葉が見ごろになる事でしょう。「日本100名城」に選定されている大野城跡を眺めながら、鮮やかな紅葉を楽しむ事ができます。

ぜひ、季節限定の大野城の美しい自然をお見逃しなく、ご堪能下さいませ。  
(平田不二香)

## 広報委員会

委員長	井福	上澤	正信	則光
副委員長	関原	澤井	信利	光夫
委員	渡平	田邊	真知	之香
委員			不二	
委員				